



茨城県立日立第一高等学校ラグビー部

日立一高ラグビー部OB会 会報

<https://ichiko-rugby-obc.com/>

(フェイスブックグループ「日立一高ラグビー部」も開設)

○創部 80 周年記念事業の準備を進めています。

いよいよ、令和7年9月14日(日)創部80周年記念事業まで1年を切りました。OBの皆様には6月末に封書でお知らせしましたが、まずは**負担金お一人10,000円以上**のご協力をお願いするとともに**記念ポロシャツ・Tシャツを先行販売**しています。事業の成功に向けて、ぜひご協力ください。なお、記念式典・招待試合等については、来春に改めてお知らせします。

ご不明な点がありましたら、10ページの一番下に記載の【OB会事務局連絡先】までお問い合わせください。



ポロシャツ (黒) 4,000円



Tシャツ (黄色) 3,000円



常陽銀行 日立支店

普通預金 No.3298914

日立一高ラグビー部記念事業

実行委員会 事務局長 木下俊雄



←このQRコードは、ポロシャツ・Tシャツの注文フォームです。読み取れない方は記念事業事務局までお問い合わせください。なお、左の預金口座は、OB負担金の納入先も兼ねています。

○16年間お世話になった部長の照沼芳彦先生が異動されました。

本年4月1日付けの人事異動により、日立一高ラグビー部の部長として、16年の長きに亘り心身両面のご指導をいただき、大変お世話になった照沼芳彦先生が、水戸二高に転出されました。

照沼先生、これまで大変お世話になりました。そして新任地での今後ますますのご活躍をお祈りしています。

「退任ごあいさつ」 部長 照沼芳彦先生

日立一高ラグビー部OBの皆様におきましては、ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、令和6年度の定期異動に伴い、日立一高から異動しましたことをご報告させていただきます。16年にわたり勤務できましたのも、皆様のお力添えがあったからこそと感謝申し上げます。

私は、日立一高が文科省よりSSH校に指定された翌年に理科教諭として赴任して参りました。校庭に向かうと、高校で一緒にプレーした橋本先生が監督となり4強を私立が占める中、県立最強を目指し、その中に割って入ろうと部員が走り込みをしていました(この中に高島先生もいました)。

その周りには、現役時代にお世話になった尾又元OB会長、木下幹事長、当時の先輩後輩が多く集まり、懐かしさと心強さを感じました。私も当初は部員とともに走っていましたが、時間とともに職務も変化し、最後は試合だけを楽しく見させていただきました。

16年の中で、教育も大きく変化しましたが、ラグビーや部活動も大きく変化しました。ラグビーは、安全性やゲーム性が加わり、ゲーム展開が早く、見る側の楽しさも増す進化をしています。部活動としては、監督が3回入れ替わり、高島先生が加わりました。



ただ、中でも変わらないものがあります。それは生徒たちを見守る環境であり、OB会の存在です。OB会は学校・父母会との連携や支援のほかには日立市をはじめ地域とのつながりをもっています。それにより、生徒や保護者は安心してラグビーを楽しむことができ、人工芝となった会瀬グラウンドで中高生が練習をしています。夏合宿には、ラグビー界の重鎮である益子さんや吉野さんが参加してください。これほどまでに強いつながりや実行力をもつOB会は全国的にも多くないと思います。

私は、社会人として仕事をするにあたり、目標を達成するため、仲間と協力するために、自身の体を張る（物理的ではなく、精神的に）ことの大切さを感じています（現役時代はあまりできませんでした）。ただ、それができる人は少ないと感じています。しかし、その少ない人たちが、ラグビーをしてきたOB会員にはたくさんいます。私も、今後は、一人のOB会員として、微力ながら貢献したいと考えております。本当に、ありがとうございました。

最後に生徒たちへ、将来のために、高校時代にすべてのスキルを伸ばしていきましょう。そのために、仲間をたくさん集め、ラグビーも勉強もすべてを目一杯楽しんでください。そんなあなたたちを、父母会・学校のみならず、OB会が見守っていてくれます。

○令和5年度終盤～令和6年度前半を振り返って

令和5年度全国大会茨城県予選 堀原運動公園競技場

10月13日（金）【1回戦】 vs. 合同B 97-0（前半 48-0 後半 49-0）
 ※合同B：土浦工、つくば国際、東風、取手一、下館二、下館工、守谷、並木中等
 10月22日（日）【準々決勝】 vs. 茗溪学園 3-94（前半 3-59 後半 0-35）

今年度は、部員不足により新人戦から合同チームでの出場が続きましたが、4月に入学したばかりの1年生の急成長や、2・3年生部員の頑張りなどにより、全国大会県予選において今シーズン初めて単独チームで出場。

1回戦は、初戦ということで固くならないか心配されましたが、部員たちはのびのびと走り回り、ランにパスにキックにタックルにと、思う存分ラグビーを満喫していました。

続く2回戦（準々決勝）は、チャレンジャーとして攻守とも果敢に前に出て奮闘、トライこそ奪えなかったもののSO梶山主将のドロップゴールで久しぶりに茗溪学園から得点を奪うことができました。



新人戦 堀原運動公園・ト伝の郷運動公園

12月23日（土）vs. 合同C 82-0（前半 34-0 後半 48-0）
 ※合同C：水城、土浦工、つくば国際大東風、取手一、牛久
 1月13日（土）vs. 清真学園 0-68（前半 0-33 後半 0-35）
 1月21日（日）vs. 勝田工高 55-0（前半 31-0 後半 24-0）

令和5年度茨城県高校ラグビー新人大会も、日立一高は、太田一高・磯原郷英高との合同Aチームでエントリー
 1回戦は年内の12月23日（土）に行われ、FW・BK一体となった攻撃で、82-0で合同Cに快勝

2回戦（準々決勝）は日立一8人、太田一6人、磯原郷英3人の17人で臨みましたが、残念ながら0-68と清真学園に敗れました。



関東高校都県対抗戦 水戸ツインフィールド2月17日(土) **茨城県選抜 41-19 栃木県選抜**

2月17日(土)～18日(日) 関東高校新人大会と合わせて開催された関東高校都県対抗戦に、飯村幸也主将が出場し、茨城県選抜の勝利に貢献しました。

なお、他のメンバーは補助員として大会運営に協力しました。

**関東高校合同チーム大会** 神奈川県 秋葉台グラウンド

3月16日(土) ○茨城 43-7 埼玉 ○茨城 19-0 千葉 ※Aブロック優勝

17日(日) ×茨城 12-19 群馬 ※全体で準優勝

日立一高生3人(5人選出されましたが怪我のため2人は辞退)を含む茨城県選抜チームは、Aブロック(神奈川、千葉、埼玉、茨城)で優勝、順位決定戦(決勝)では群馬県に敗れたものの、堂々の準優勝を果たしました。

この大会は昨年度創設され、各都県の新人戦で3位以下となったチームから選抜された合同チームが出場する大会です。今回の茨城県選抜チームは、日立一高の高島先生が監督を務めました。

**関東大会県予選** 水戸ツインフィールド・会瀬スポーツ広場・ト伝の郷運動公園

4月21日(土) 【1回戦】 vs. 合同C 64-7 (前半 28-7 後半 36-0)

※合同C:水城・土浦工・東風・取手一・牛久

4月27日(土) 【準々決勝】 vs. 東洋大牛久 12-17 (前半 7-10 後半 5-7)

5月6日(月・振) 【5位決定戦】 vs. 合同D 57-14 (前半 33-0 後半 24-14)

※合同D:下館二、下館工、下妻一、守谷

1回戦は1年生が3人出場するなど、不安要素を抱えながらの試合となりました。前半はセットプレイで圧力をかけられましたがアグレッシブに攻撃し、28-7とリード。後半は風下になりましたが、相手陣でプレイする時間が多く、落ち着いてプレイすることができ、チーム一丸となって戦い抜き、64-7と勝利を収めることができました。

2回戦は、おそらくは昭和51年(1976年)2月の新人戦決勝以来48年ぶりに日立市内で行われた高校ラグビーの公式戦となりましたが、残念ながら東洋大牛久高に12-17と敗退。合同チームしかも1・2年生が主体というところの難しさが出たゲームとなりました。

5位決定戦は、これまでの試合で課題となっていたスクラムなどセットプレイが安定し、生きたボールが供給できたので、アタックにもリズムができ、終始主導権を握りながら試合を進め、勝利することができました。



全国7人制大会県予選 水戸ツインフィールド

令和6年6月15日(土) 【1回戦】 vs. 牛久高 0-40
 【敗者戦】 vs. 勝田工高 12-14

1回戦の牛久高校は昨年度のベスト4チーム。7人制に特化したチーム作りをしているようです。試合開始直後はボールポジションで上回りリズムに乗りますが、2本目のトライを奪われたあたりから流れが変わり、最後はワンサイドゲームとなりました。

敗者戦では勝田工高と対戦。終了間際までリードされる展開となりましたが、残り90秒で3年生を中心に前に出て圧をかけ、ミスをせずにフェイズを重ね、最後はトライに結びつけました。12-14とゴールキックの差で敗れましたが、今年度初のファーストジャージ(黒)を着ての試合で、最後に日立一高らしさを見せてくれました。

**○ 新春恒例の「蹴り初め」を開催!!**

令和6年1月3日(水) 午前9時から日立一高グラウンドにおいて新春恒例の「蹴り初め」を開催し、今年も100人を超える新旧OB・中高生部員・保護者・関係者等が参加し新春を祝うとともに現役部員を激励しました。

年頭挨拶の後、参加者が4チームに分かれてのタッチフットでウォームアップし、若手OBを中心にチームを編成して2ラウンドのOB戦を実施

曇り空ではありましたが、風はほとんどなくグラウンドも適度な湿り気で絶好のコンディションの下、笑顔あふれる楽しい「蹴り初め」でした。

今回も、卒業したてや20代の若手OBが数多く参加してくれました。

来年以降もこの流れを継承して、

誰もが参加しやすいイベントとしますます参加者が増えることを期待しています。

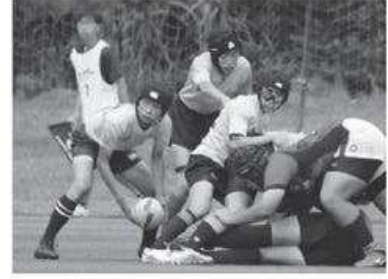
**○ 令和6年度の夏合宿を“菅平”で開催**

令和6年8月5日(月)～8日(木) 日立一高ラグビー部は、長野県上田市の菅平高原で遠征合宿を実施しました。

今年も、日立一高(11人)、太田一高(15人)、磯原郷英高(3人)と3校の合同合宿となり、また諸般の事情から例年より1日少ない3泊4日の日程で行われました。

OB会からは、黒沢会長、レジェンド吉野俊郎さん・益子俊志の3人が参加。父母会の皆さんも大勢駆けつけ、部員に声援を送ってくださいました。関係者の皆様、お忙しい中をありがとうございました。

【試合結果】	8月5日(月) 午後	練習のみ		
	8月6日(火) 午前	vs. 魚津高(富山県)	◎14-0	
		vs. 千葉南高(千葉県)	×0-12	◎5-0
		午後	vs. 板橋有徳高(東京都)	◎19-0
	8月7日(水) 午前	練習のみ		
		午後	vs. 東京学院浦安(千葉県)	×0-28 ×0-31 △12-12
	8月8日(木) 午前	vs. 川越東(埼玉県)	◎19-0	◎26-5



○ 日立一高OBが清真学園OBとの合同チームで茗溪学園OBと対戦！！

※参加したOB原正紀さん（平成6年度・第47回卒）からのレポートです。

「茗溪・清真・日立一」のOB交流戦に参加してきました。コロナ禍での中断を挟み、4度目の参加でしょうか。会自体は茗溪さんの納会・卒業生のOB会への迎入れイベントの一環で毎年3月上旬につくば市内の茗溪学園グラウンドで行われます。

当部からは、黒沢、尾又彰、本田、内村、原、西山、樋本弟、大部、鈴木克（敬称略、年代順）が参加。清真さんから参加の3名を加え、足りない部分は茗溪の若手OBを助っ人に、20分×2のコンタクトゲームを楽しんできました。

結果は後半、完全に脚が止まった日立一・清真連合に対して、アグレッシブな展開を試みる茗溪が立て続けにトライ。トライ数6-2（もしくは5-2?）で残念ながら敗れましたが、久しぶりに尾又さんのナイスキックや西山の無謀な突進が観れて楽しかったです。 . . .

私自身も右脚アキレス腱完全断裂から2年経過し、久しぶりの実戦復帰。妻からの「次回の断裂は離婚を意味する」との厳しい言葉を受け、なるべくブレイクダウンには参加しないように、気配を殺しておりました。

が〜しかし、やはり血が騒いでしまい、何回かのボールキャリア、やはりラグビーは楽しい！！

毎回メンバー足らずに茗溪の若手を借りております…次回は何としても純日立一で試合がしたい！！

over40とは言ってますが、ガチの現役以外は全然問題ないと茗溪の福田OB会長にも確認しましたので、長谷川や木田、深谷辺りのメンバーも参加して、来年は賑やかにやりたいと思っております。流石に何年も参加してますので、茗溪・清真OBの方々とも仲良くなり。ラグビーって良いなあ😊な週末でした🍷🍷🍷



○ 父母の会だより 父母の会会長 飯村 幸治 さん（飯村 幸矢くん（3年）の父）

父母の会の会長を務めさせていただいております飯村幸治と申します。

日頃より、先生方をはじめ日立一高ラグビー部OB会の皆様方には、多大なご支援やご指導をいただき心より感謝申し上げます。

今年度は部員が15人集まらず、合同チーム（日立一高・太田一高・磯原郷英）でのスタートとなりました、合同チームのみでおこなわれた大会では、関東大会に茨城選抜チームとして、日立一高から5名の選手が選ばれ2位に、全国大会（KOBELCO CUP）に関東選抜チームとして日立一高から2名の選手が参加させていただきました。

全国大会（KOBELCO CUP）では、予選リーグを1位で通過し、決勝リーグでは2位という成績を残せました。

今年の菅平高原での合宿は、日立一高だけでは練習試合などが出来ない事から、先生達のご尽力により例年とは異なり合同チームでの開催となりました。合宿中にはOB会の皆様からの差入れや練習後にはアドバイスや楽しいお話などをして頂き感謝しています。

秋の全国大会予選は、選手達の希望で助っ人を頼み単独での出場にこだわりました。日立一高の黒のファーストジャージで出来る最後の大会です、選手達には悔いの残らないように精一杯頑張ってもらいたいです。

最後になりましたが、OB会の皆様には今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



【KOBELCO CUPに出場した飯村幸矢くんと堀川英汰くん】



【中央の縦2人が飯村さん親子、その向かって右隣が五来さん親子、一番左端が倉橋くん】

○ 第20回OB会長杯ゴルフコンペの開催について

日立一高ラグビー部OB会の第20回ゴルフコンペを下記のとおり開催しますので、奮ってご参加ください。

- 1. 日 時 11月2日(土) 午前9時00分 集合
9時24分 スタート
- 2. 場 所 茨城パシフィックカントリー倶楽部
北茨城市関南町神岡上小沢1113
Tel: 0293-46-4111
- 3. 費 用 プレイ費11,000円+商品代1,000円
【ゴルフコンペ幹事: 笠井知洋 Tel: 080-5057-3065】



【昨年のゴルフコンペにて】

○ 全国大会県予選の組み合わせが決定しました。

令和6年度全国大会県予選の組合せが下記のとおり決まり、今年は、附属中ラグビー部経験者やサッカー部の協力を得て、単独チームでエントリーすることができました。黒ジャージを着た日立一高を皆んなで応援しましょう。詳しくは、OB会ホームページ、又はフェイスブック等をご覧ください。

1回戦	10月 5日 (土) 13:00	vs 下妻第一	堀原運動公園
2回戦	10月20日 (日) 10:30	vs 東洋大牛久高	堀原運動公園
準決勝	10月27日 (日) 13:00	vs 清真学園、合同A、合同Bの勝者	堀原運動公園
決 勝	11月10日 (日) 13:00	vs 茗溪学園、勝田工高等のブロックの勝者	ケズデンスタジアム

○ 「学年幹事会」を開催しました

令和6年7月13日(土) 午後6時から「まんぼう」において、令和6年度の学年幹事会を開催しました。OBの出席は16人、委任状提出者が48人、出席者はやや少なめでしたが、下記の案件について審議していただきました。

- 【案件】 1 令和5年度事業報告及び決算について 原案承認
- 2 令和6年度事業計画及び予算(案)について 原案承認
- 3 役員改選について 原案承認
※新たに幹事として志賀和義、高野真二、大平望の3氏を、事務局長に笠井知洋氏を選任
- 4 その他 創部80周年記念事業の進捗状況について
※「記念式典」「記念誌」「招待試合」「総務」の部会ごとに進捗状況を説明

1-1 令和5年度 事業報告及び決算について (単位: 千円)

	予算	決算	比較	内 容
1) 学年幹事会	50	44	-6	3年ぶりに開催
2) OB会報発行	178	190	+12	10月に第26号を発行
3) 大会参加への資金援助	195	275	+80	関東大会出場緊急カンパを含む
4) 夏合宿への資金援助	50	50	0	
5) 夏合宿へのOB派遣補助	28	35	+7	参加人数・日数の減
6) 全国予選激励会相当補助	30	30	0	相当額30,000円を現金で補助
7) 高校生交流会支援	0	50	+50	3月末、県内外高校生との交流
8) 会議・親睦行事等の開催	44	174	+130	監督歓送迎会、顧問送別会を追加
9) 慶弔費	20	85	+65	鈴木家、原家、佐藤家、橋本家
10) 事務費	30	70	+40	諸行事の通知郵送料を含む
11) 80周年記念事業準備	0	38	+38	実行委員会会議費、郵送料等
12) 高校部員活動費支援	150	250	+100	会瀬G使用料を追加助成
13) 中学部員活動費支援	150	150	0	
14) 予備費	5	0	-5	
計	930	1,441	+511	

1-2 令和5年度 主な収入の状況

(単位：円)

	年会費 (納入者)		広告料 (納入者)		計
	金額	納入者	金額	納入者	
令和5年度予算	712,000	120人	218,000	14件	930,000
〃 決算	548,000	103人	232,000	14件	(83.9%) 780,000

※上記以外に、父母会から次期周年事業協力金として15千円を受領
ほか、関東大会出場緊急カンパを募ったところ252千円が集まった。

2-1 令和6年度 事業計画及び予算

(単位：千円)

	R5 決算	R6 予算	内 容
1) 学年幹事会	44	50	7/13開催
2) OB会報発行	190	190	10月に第27号を発行予定
3) 大会参加への資金援助	275	135	30,000×4大会+プログラム協賛金
4) 夏合宿への資金援助	50	50	
5) 夏合宿へのOB派遣補助	35	35	
6) 全国大会予選激励会	30	30	R4・5は相当額を現金で補助
7) 高校生交流会支援	50	50	県内外の高校チームとの交流
8) 介護・親睦行事等の開催	174	100	蹴初め、新年会等
9) 慶弔費	85	50	OB・関係者葬儀香典等
10) 事務費	70	50	郵送・コピー代・振込手数料等
11) 80周年時年事業準備	38	50	
12) 高校部員活動費支援	250	200	活動費等補助(含会瀬G使用料)
13) 中学部員活動費支援	150	150	〃
14) 予備費	0	60	
計	1,441	1,200	前年度決算比 -241千円

2-2 令和6年度 収入見込

(単位：円)

	年会費 (納入者)		広告料 (納入者)		計
	金額	納入者	金額	納入者	
令和2年度決算	457,000	85人	208,000	14件	665,000
令和3年度決算	399,500	76人	214,000	14件	613,500
令和4年度決算	510,000	93人	218,000	14件	728,000
令和5年度決算	548,000	103人	232,000	14件	780,000
令和6年度予算	700,000	110人	250,000	15件	950,000 (前年度決算比122%)

3 役員改選

◎ 役員(24人)

(凡例)欄外の※印は新任

役職	氏名	卒年度	役職	氏名	卒年度
会長	黒沢 祐士	昭和50年度	幹事	尾又 彰彦	平成2年度
副会長	山本 宏	昭和51年度	幹事	助川 覚	平成5年度
副会長	益子 俊志	昭和53年度	幹事	原 正紀	平成6年度
副会長	柴田 和則	昭和57年度	幹事	鈴木 祐輔	平成7年度
幹事長	木下 俊雄	昭和54年度	幹事	加藤 順大	平成8年度
幹事	鶴巻 仁	昭和57年度	幹事	樋本 吉和	平成8年度
幹事	黒澤 次郎	昭和58年度	幹事	吉田 昭洋	平成20年度
幹事	平澤 慎二	昭和59年度	幹事	大平 望	平成24年度
※ 幹事	志賀 和義	昭和60年度	幹事	小川 浩慶	平成28年度
幹事	高橋 晃太郎	昭和61年度	監事	橘 恒弘	昭和62年度
※ 幹事	高野 真二	昭和63年度	監事	長谷川 将大	平成20年度
幹事	本田 浩一	平成2年度	事務局長	笠井 知洋	昭和59年度

◎ 学年幹事一覧(86人)

卒業年度	卒業回次	氏名	卒業年度	卒業回次	氏名	卒業年度	卒業回次	氏名
S23	1	鈴木 清介	S51	29	岡部 英明	H07	48	鈴木 祐輔
S24	2	(空席)	S51	29	山本 宏	H07	48	杉浦 巖
S25	3	(空席)	S52	30	照沼 康彦	H08	49	加藤 順大
S26	4	(空席)	S53	31	益子 俊志	H08	49	樋本 吉和
S27	5	大内 二郎	S53	31	松本 秀市	H09	50	鈴木 秀明
S28	6	(空席)	S54	32	木下 俊雄	H10	51	鈴木 克典
S29	7	鈴木 豊次	S55	33	今川 敏宏	H11	52	加藤 暁之
S30	8	大友 敏勝	S56	34	中川 博誌	H12	53	片根 大輔
S30	8	鈴木 正典	S57	35	柴田 和則	H13	54	(女子マネージャーのみ)
S31	9	吉田 尚一	S57	35	鶴巻 仁	H14	55	野地 伯宏
S32	10	(空席)	S58	36	黒澤 次郎	H15	56	青木 孝憲
S33	11	(空席)	S59	37	大友 健嗣	H16	57	大内 和也
S33	11	山形 暁志郎	S59	37	笠井 知洋	H17	58	深谷 将太郎
S34	12	鈴木 基晴	S59	37	平澤 慎二	H18	59	八尾 匡哉
S35	13	赤津 幸司	S60	38	大内 芳之	H19	60	岡部 匡哉
S36	14	尾又 篤	S60	38	橋本 晃輝	H20	61	長谷川 将大
S37	15	阿久津 忠義	S60	38	照沼 芳彦	H21	62	深谷 竜二郎
S38	16	(空席)	S60	38	志賀 和義	H22	63	小野 太志
S39	17	古口 利博	S61	39	菊池 敬	H23	64	山口 大輔
S40	18	松永 啓	S61	39	高橋 晃太郎	H24	65	大平 望 ※
S41	19	石井 博美	S62	40	根本 伸一	H25	66	村山 聖
S42	20	村山 功	S62	40	橘 恒弘	H26	67	岡崎 祐季
S43	21	鈴木 洋三	S63	41	高野 真二	H26	67	野中 雄大
S44	22	藤本 秀夫	S63	41	渡辺 俊穂	H27	68	稲野邊 倭
S45	23	(空席)	H01	42	二瓶 正樹	H28	69	篠田 昌寿
S46	24	(空席)	H02	43	尾又 彰彦	H29	70	田口 大輔
S47	25	草野 克治	H02	43	本田 浩一	H30	71	尾又 悠介
S47	25	下山田 秋成	H02	43	野田 浩太郎	R元	72	角田 祐弥
S48	26	鴨志田 範人	H03	44	梅澤 正臣	R02	73	志賀 佑輝
S49	27	岡部 佳朗	H04	45	金澤 勉	R03	74	二重作 英慈
S49	27	秋山 啓市	H05	46	助川 寛	R04	75	カナザワシールズ 世晏
S50	28	黒沢 祐士	H06	47	原 正紀	R05	76	梶山 湊 ※

○ 附属中ラグビー部の活動状況

- ・ 中学ラグビー部は3年生3名で活動しています。今年度は
 - ① 部活動指導員2名(一高ラグビー部OBの尾又さん、平澤さん) 継続
 - ② 一高ラグビー部と連携し、合同練習を週2回(火曜日、水曜日)実施
 - ③ 金曜日は地域のラグビー活動に参加できる人は参加するなど、ラグビー交流の幅を広げるために、新たな試みの2年目として取り組んでいます。
- ・ 公式試合は「茨城中学合同チーム」として出場しています。今年度は日立一高附属中、太田一高附属中、勝田中等教育学校の他に、今年度は私立清真学園中学校、北茨城市立磯原中学校が加わり、5校合同チームとして大会に参加します。



【2024.6.1-2 関東中学ラグビー大会(熊谷)】

【令和5年実績】

1月	・FMひたち「トップアスリート」番組出演 ・田んぼでタグラグビー in Kasama 参加
2月	千葉 茨城県中学生ジュニアラグビー新人交流大会 出場
3月	東日本U15 中学生ラグビーフットボール選抜大会 *選抜選手が出場
4月	関東中学校ラグフットボール大会千葉・茨城予選 *茨城合同は競技人数11名のため、規定により不戦敗

5月	・千葉・茨城県中学校ラグビーフットボール春季大会（交流戦） 出場 ・会瀬スポーツ広場オープン記念イベント 参加
7月	全国ジュニアラグビー大会 中学校千葉・茨城地区予選 *選抜選手が出場
9月	東日本中学校ラグビーフットボール大会 千葉・茨城県予選 出場 *茨城中学合同 0-50 専修大学松戸中学校
11月	・千葉 茨城県中学校ラグビーフットボール秋季大会（交流戦） 出場 ・田んぼでタグラグビー in Kasama 参加
12月	茨城県ラグビーフットボール協会 ラグビーフェスティバル 参加

【令和6年実績】

2月	千葉 茨城県中学生ジュニアラグビー新人交流大会 出場
3月	東日本U15 中学生ラグビーフットボール選抜大会 *選抜選手が出場
4月	関東中学校ラグビーフットボール大会千葉・茨城予選 *茨城中学合同 0-85 茗溪学園中学校
5月	関東中学校ラグビーフットボール大会千葉・茨城大会決勝 兼 千葉 茨城県中学校ラグビーフットボール春季大会（交流戦） 出場
6月	関東中学校ラグビーフットボール大会に茨城県2位として出場 *茨城中学合同 19-22 明八桐電連合 *茨城中学合同 12-17 城西川越中学校
7月	全国ジュニアラグビー大会 中学校千葉・茨城地区予選 *選抜選手が出場 第30回全国ジュニア大会関東甲信越地区・中学校予選/交流戦 *選抜選手が出場
9月	東日本中学校ラグビーフットボール大会 千葉・茨城大会 出場予定 *茨城中学合同 - 流通経済大学付属柏中学校
10月	・東日本中学校ラグビーフットボール大会 千葉・茨城大会 兼 千葉 茨城県中学校ラグビーフットボール秋季大会（交流戦） 出場予定

○ OB通信

このコーナーでは、OBの方々に昔の思い出話や近況等のご紹介をいただいています。

今回は、元早稲田大学ラグビー部主将で卒業後は監督も務められたレジェンド益子俊志さん、そして平成23年度主将の鈴木圭汰さんのお二人にお願いしました。お二人ともお忙しい中を寄稿していただきありがとうございました。

「ラグビーやってよかった！」 益子俊志 昭和53年度・第31回卒

昭和53年度卒業の益子俊志です。卒業してから長い時間が経ちました。日立一高でのラグビーとの出会いが私の人生において大きく影響したのは間違いありません。回顧録として昔を思い出しながら記したいと思います。

私は、一高近くの駒王中出身です。中学時代は軟式テニス部でした。当時日立一高軟式テニス部は名門クラブで23年連続インターハイ出場先輩方は関東大会優勝やインターハイでも成績を残していました。もちろん、私も一高に入学したらテニス部に入ることは必然でした。入学前の春休みに一高の練習にも参加しました。

秋の県北新人戦では優勝し、県新人戦ではベスト8に入りました。しかし1月末に先輩と喧嘩して退部。そこに声をかけていただいたのが、滑川先生でした。

全くラグビーのことを知らない私が2週間で水戸一高との練習試合に出させられルールも知らず訳もわからず身体中痛くて「なんだこのスポーツは」と思った事は今でも鮮明に覚えています。

そこからラグビー漬けの日々が始まりました。高3の春、今までは関東大会が終わって引退することが慣例でした。しかしその年はもしかしたら花園行けるのではとOBの皆さんも我々も思いました。3年生が残り、一般の生徒が夏休真っ白い顔で受験勉強に励んでいる側でグラウンドで真っ黒なりボールを追いかける毎日。合宿ではキャプテン藤田一幸が熱中症で倒れ救急車で運ばれる。私もグラウンドの隅で吐きながら走っていました。

そして秋、その当時は1県1校ではなく北関東で1校の花園でした。栃木県代表の佐野高校との決戦に勝利し、初めて花園の切符を手に入れました。1回戦萩工業に勝ち2回戦元日に大分舞鶴高校に敗戦。高校ラグビーが終わりました。花園から帰ってきてからも何か魂が抜けた感じで時間が経ちました。それでも受験は避けられません。浪人するのも覚悟の上でラグビーに賭けていました。

地元筑波大学を第一志望でしたが不合格、半分記念受験の早稲田大学教育学部合格。早稲田大ラグビー部は練習がとんでもなくきついと聞いていました。どうしようか悩んでいましたが、同期の吉野君、照沼さん（浪



人して同期に)と3人で入部。練習は想像以上のきつさでしたが辞めることはありませんでした。4年生時には主将を任せられ、対抗戦優勝することができました。大学選手権では明治大にリベンジされ覇権奪還はなりませんでした。充実した学生時代を過ごすことができました。

卒業後は高校・大学教員への道へ進みましたが、ラグビーのおかげでたくさんの人と出会えました。ラグビーはいつどこでラグビーをやっていたか、レギュラーだったのかそうでないのか、キャリアが短いのか長いのか、国内海外なのか全く関係ありません。ただ「ラグビーをやっていた」それだけなのです。

今年8月に仕事で豪州ニューカッスル大学に行き、ニューカッスル大の学部長とスポーツ担当の教授とミーティングする機会がありました。もちろん初めましてです。私はラグビーをやっていたと話したら、なんとその教授もラグビープレーヤーで英国オックフォード大学のキャプテンでした。2004年には来日して早稲田大学と対戦したそうです。私も一時期オックスフォード大学にコーチ留学していたので大いに盛り上がりました。

スポーツ特にラグビーは万国共通のワードです。民族・宗教・思想・政治関係なく世界を一つにできるものです。(最近では五輪でも平和の祭典ではなくなっていますが)そして日本人が世界の人たちと対等に勝負できる人間力を身につけることができるのです。私はそれを自分自身で体感してきました。

是非とも日立一高の後輩たちにはラグビーという武器を身につけ、世界と勝負できる人間に育ってほしいと強く思います。もちろん勉強をするのは大前提です。

「チームカラー」 鈴木圭汰 平成23年度・第65回卒

私が高校ラグビーを引退し、卒業をしてから11年が経ちました。運動はほとんどしなくなり、当時食べても食べても増やせなかった体重は、高校時代よりプラス10キロを達成しています。現役時代を思い出すと複雑な心境です。

体重つながりで当時の話をしますと、私達の代は体重が軽い部員が多く、忙しい中マネージャーがおにぎりを握ってくれて、みんなで部活後に食べていました。献身的な周りのサポートで少しずつチームは強くなっていきました。ただし、最後まで「パワー」チームと言うよりも『速く・鋭い』チームカラーだったと思います。

茗溪学園や清真学園は私達よりも大きくて重く、試合に勝つことはできませんでした。そういった点でも、体重の増量や筋力量はラグビーに欠かせない要素だと思います。

しかし体重がないながらも、スピードやキレにこだわってプレーできた当時のチームは、今思い返しても自慢のチームです。

私が最高学年の代に、県総体Aグループで優勝できたり、当時の歴代最高得失点146点をマークできたのは、BK・FWともにプレースタイルが似た部員が揃っていたからかなと、今更ですがそう感じています。

社会人となり中堅社員として働く今でも、ラグビーと同じく、周りとの協力は欠かせません。自分にはない技術を周りのサポートで補ったり、私の得意なことが逆に役に立っていたりします。ラグビーから得たチームプレーの精神は、今でも私の大切な信念のひとつです。

たまたま読んでくれた現役部員のみなさん宛にひとこと伝えるとすると、『不得意をなくすことも重要ですが、長所を伸ばすのも同じく大切という点です。それぞれの長所や特徴を活かせるラグビーは、プレーする本人達も、それを観ている周りの人も楽しいはずですので、自分達のスタイルを大切にしていってください。

(昔のことを思い出して、またラグビーに触れたいくなったので、まずは筋トレから始めたいと思います、...)

○「誌上広告」について

OB会の財政安定化を図るため、今年度もOB会員等が経営する会社等の広告を掲載しています。(12頁をご参照ください。)

広告料は、年1回発行の会報掲載で1口1万円以上ですが、今年度は13人(14件)のOBとOB会役員・父母の会の皆様から、合計222,000円のご協力をいただくことができました。

ご協力をいただいた皆様には、この誌上をお借りして厚くお礼申し上げます。

OB・父母の皆様には、何かの折にはぜひ広告掲載店・企業にご用命ください。



日立一高ラグビー部OB会報 第27号 (令和6年10月1日発行)

発行責任者：幹事長 木下 俊雄 (昭和54年度 第32回卒) ※創部80周年記念事業事務局

問合せ先：〒317-0065 日立市助川町3-7-4 木下俊雄 【電話】090-7846-8078

愛犬と楽しむキャンプ場

Out Tail Dog Camp

松崎 暢之 (昭和63年度 第41回卒)

〒294-0004 千葉県館山市水岡263番地

https://dogcamp.jp

大北産業株式会社

代表取締役社長 樋本 鶴雄 (平成6年度卒)

専務取締役 樋本 吉和 (平成8年度卒)

〒319-1557 北茨城市中郷町松井1888番地

電話: 0293-42-0714

尾又運送株式会社

代表取締役社長 尾又 彰彦 (平成2年度卒)

代表取締役会長 尾又 篤 (昭和36年度卒)

〒316-0035 日立市国分町3丁目11番7号

電話: 0294-36-2856

有限会社 川西砕石

代表取締役 杉浦 巖夫

(平成7年度 第48回卒)

〒316-0001 日立市諏訪町1071番地

電話: 0294-33-0359

鈴菊商店

代表 鈴木 真治

(平成2年度 第43回卒)

〒319-1701 北茨城市平潟町293番地

電話: 0293-46-5110

有限会社 ナニワ運動具店

橋 恒弘

(昭和62年度 第40回卒)

〒317-0071 日立市鹿島町2丁目15番4号

電話: 0294-22-0017

弁護士法人 萩原総合法律事務所

代表 萩原 慎二

(平成4年度 第45回卒)

〒308-0041 筑西市乙828番地の3

SATOHビル2階

電話: 0296-48-8875

日立一高ラグビー部 父母の会

会長 飯村 幸治

(ほか 保護者一同)

石井米店

店主 石井 博美

(昭和41年度 第19回卒)

〒318-0021 高萩市安良川270番地

電話: 0293-22-3157

株式会社オカベ

代表取締役 岡部 英明

(昭和51年度 第29回卒)

〒316-0003 日立市多賀町2丁目10番7号

電話: 0294-36-1681

株式会社オンサイド

代表 中小企業診断士 松崎 暢之

(昭和63年度 第41回卒)

153-0044 東京都目黒区大橋1丁目5番1-2001号

電話: 03-6277-5309

株式会社 カントウスプレー

代表取締役 本田 浩一

(平成2年度 第43回卒)

〒317-0054 日立市本宮町3丁目32番12号

電話: 0294-22-0807

株式会社 トップペイサービス

代表取締役 後藤 秀次郎

(昭和41年度 第19回卒)

〒272-0144 千葉県市川市新井3丁目15番28号

電話: 047-396-7176

肉の登利要 日立店

店主 古口 利博

(昭和39年度 第17回卒)

〒317-0073 日立市幸町2丁目8番14号

電話: 0294-21-0971

村山商店

代表 村山 功

(昭和42年度 第20回卒)

〒319-1702 北茨城市大津町2731番地1

電話: 0293-46-0172

日立一高ラグビー部OB会 役員会

会長 黒沢 祐士 ほか

(昭和50年度 第28回卒)

私たちは、日立一高ラグビー部を応援しています!

(事業所名はアイウエ順)